

平成16年11月11日
水産庁

2004 / 2005年南氷洋鯨類捕獲調査船団の出港について

1. 調査船団の出港について

本年度の南氷洋鯨類捕獲調査（西脇調査団長）に従事する調査母船「日新丸」、調査標本採集船「第2勇新丸」、「勇新丸」、「第1京丸」及び目視専門船「第2共新丸」は、以下の通り11月12日（金）に出港する予定です。

（1）出港日時、場所

平成16年11月12日（金）10:40 下関市南部町^{なべちよう} 下関港あるかぼーと岸壁

（2）調査船団

調査母船

日新丸（7,659トン 遠山船長以下 122名）

調査標本採集船

第2勇新丸（747トン 松坂船長以下 18名）

勇新丸（720トン 三浦船長以下 19名）

第1京丸（812.08トン 亀井船長以下 22名）

目視専門船

第2共新丸（372トン 南船長以下 21名）

2. 調査計画の概要

（1）調査趣旨：本調査は、南氷洋に生息するミンク鯨の資源管理に必要なデータを収集するために行うもので、具体的には、ミンク鯨の自然死亡率、加入率、群の住み分け状況、並びに南極海の鯨類をとりまく海洋生態系に関するデータを収集します。これらのデータは、捕獲調査でのみ得られるもので、IWC科学委員会で本調査のデータを用いて行われた研究成果が高い評価を受けています。

なお、本年は当初計画（18年間）の最終の調査となります。

（2）航海期間：平成16年11月12日～平成17年4月上旬

（3）調査海域：南氷洋V区及びVI区の西側

（4）捕獲頭数：ミンク鯨400頭±10%

（5）実施機関：財団法人 日本鯨類研究所

問合せ先：水産庁遠洋課捕鯨班 諸貫、長友、大部
代表：03-3502-8111 内線:7242
直通：03-3502-2443
<http://www.jfa.maff.go.jp/whale/indexjp.htm>